【議案１】特定非営利活動法人 NGO 福岡ネットワーク（FUNN）2017 年度事業報告

2017 年度も、職員の行動指針をもとに、国際協力に関心のある・参加する人にスポットを当てた活動（国際協力に関心を持つ人を増やすこと、NGO に関わる人同士をつなぐことが、NGO・国際協力活動への理解や NGO の活性化につながるという考えにもとづいた活動）を展開しました。

FUNN 職員行動指針

「人と世界をつなぐ」

「国際協力に関心があり、世界を知りたい・行動したい・サポートが欲しいと思っている人たち」に向けた活動。世界で起こる問題と私たちの暮らしとの関係性、私たちにできる関わり方や、必要な知識とスキルを伝えていく事で、国際協力への次の行動や選択肢を見つけることができる人を増やしていく。そうした人々が加盟団体につながることで、活動の活性化、発展を促す。

「NGO に関わる人と人をつなぐ」

「加盟団体の理事・職員・支援者・参加者」に向けた活動。同じ国際協力に関心を持つ人や、似た環境にある人同士や世代を超えた関係性をつくり、お互いの学びの場や居場所と感じられる場を提供する。加盟団体における個人同士のつながりを生み出すことで、組織間の協力を促進する。

「NGO と他セクターをつなぐ」

「NGO と、企業・教育機関・行政などの他セクター」に向けた活動。セクター間の協働への関心を引き、具体的な事例を紹介し、連携に向けてのアドバイスを行い、NGO と他セクターのつながりを生み出す。協働の可能性と力を広げていくことで、NGO の社会的基盤づくりを促進する。

事業報告　目次

1　2017 年度事業別報告
- 1-1　NGO の活動や運営に関する支援　2
- 1-2　国際協力に関する調査・提言　3
- 1-3　国際協力に関する情報・学習機会の提供　5
- 1-4　NGO 活動に関する人財育成　10
- 1-5　NGO 間及び各種団体との連携促進　11

2　組織
- 2-1　組織運営・体制　12
- 2-2　会員　13

1. 2017 年度事業別報告

1-1. NGO の活動や運営に関する支援

1-1-1. 2017 年度の方針

情報提供と組織・能力強化支援を中心に、団体活動の活性化を目指します。

1-1-2. 2017 年度の活動

① 助成金、NGO 活動に資する情報の提供

■ 情報提供や人材紹介

○実施内容

主にメールを通して、外務省や JICA、JANIC などからのイベント情報、助成金情報、物品寄付、声明や賛同に関する情報などの提供を行いました。

○成果

2017 年度は助成金事業を加盟団体から九州 7 県の団体に広げて公募を行いました。鹿児島からの申請もあり助成金事業が九州全域に周知されました。

② 広報活動の支援

■ 情報の発信

○実施内容

メール、ホームページ、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）、メールマガジン、機関紙などを通して、加盟団体をはじめとした NGO の情報発信を行いました。

○成果

加盟団体から依頼を受けた情報については滞りなく配信することができました。

③ NGO の組織・能力強化の支援

■ 九州地域 NGO 活動助成金（真如苑共催）

○実施内容

宗教法人真如苑との共催で、対象を加盟団体から九州地域に広げて助成金事業を企画、実施しました。7 団体からの応募があり、半公開方式のプレゼンテーションと審査会を実施した結果、4 団体の事業が採択されました。

▲説明会兼報告会の様子

○説明会兼報告会：2017 年 9 月 9 日（土）

報告：ＮＰＯ法人九州海外協力協会（事業助成）

○審査会日：2017 年 11 月 11 日（土）

○採択団体と事業：

（特活）ソルト・パヤタス：

「関西の学生支援向け規模拡大のための啓発事業」

フレンズ国際ワークキャンプ九州：

「ネパールの農村における震災復興支援事業」

▲審査会の様子

アジア開発銀行福岡ＮＧＯフォーラム（ＦＮＡ）：
「身近な国際化と多文化共生のための料理教室～あじ（味）でつながるアジア」
（認定ＮＧＯ法人）ＤＡＮＫＡＤＡＮＫＡ：
「小規模採卵養鶏場プロジェクト形成調査」
○成果
今年度は新たにＦＵＮＮ加盟団体から九州地域の団体に公募対象を広げて行いました。前年度採択団体による報告会と募集要項等の説明を行う説明会を開催しました。
支援を受けた団体は助成金を有効に活用し、各プロジェクトを効果的に進めることができました。
■ ＮＧＯ等提案型プログラム
JICA「NGO 等提案型プログラム」に申請を行った結果採択となり NGO の活動環境整備に寄与する事業として 3 年のプログラムとして始まりました。

1-2. 国際協力に関する調査・提言

1-2-1. 2017 年度の方針

NGO のネットワークとして、NGO や市民全体にかかわることに関して、調査・提言活動に取り組みます。

1-2-2. 2017 年度の活動

① 国際問題の調査・研究および国際機関・政府等への政策提言活動
■ 2017 年度 NGO・外務省定期協議会 ODA 政策協議会
○実施内容
ODA 政策協議会コーディネーターに応募し、外務省と NGO 間の調整や議題の調整等の業務を高橋良輔理事が担当しました。
○各回詳細：
1．全体会議 6 月 6 日（火）14:00～16:00 外務省南国際大会議室 893 号室
報告事項 （1）平成 28 年度定期協議会振り返り
（2）地域ＮＧＯの政策環境
（3）社会スペースについて、その他
協議事項 （1）平成 29 年度開発協力祷店方針および予算について
(2) 日本ＮＧＯ連携無償資金協力および活動環境整備支援事業について
2．第 1 回 ODA 政策協議会 7 月 11 日(火）14:00～16:00 外務省南国際大会議室 893 号室
報告事項 （1）特定秘密の指定におけるＯＤＡ関連情報等の取扱いについて
（2）プロサバンナ事業に関する報告
（3）軍に対する支援・対テロ支援・治安支援・海上保安能力向上支援のあり方
協議事項 （1）２０１７年開発協力重点方針～ＳＤＧｓ時代のＯＤＡのあり方について
（2）持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の地域展開について
（3）市民社会スペースについて
3．第 2 回 ODA 政策協議会 12 月１3（水）14:00～16:00 外務省南国際大会議室 893 号室
報告事項 （1）2018（平成 30）年度予算要求における ODA 関連予算・SDGｓ関連要求

について
（2）教育のためのグローバル・パートナーシップ拠出誓約会合における日本政府の方針について
（3）TICAD モザンビーク会議に参加登録した NGO 職員のビザ拒否問題について

協議事項　（1）日本によるナカラ経済回廊開発と社会的影響

４．第 3 回 ODA 政策協議会　3 月 1 日（木）13:00-15:00 京都市国際交流会館　特別会議室

報告事項　（1）SDG s アクションプラン 2018 について

協議事項　（1）ODA による石炭火力発電への支援について
（2）日本の開発援助と「小農の権利に関する国連宣言」-ナカラ回廊経済開発（プロサバンナ事業含む）を事例として

その他　2019 年 G20 サミット日本開催について

○成果

全体会議、第 1 回・第 2 回ＯＤＡ政策協議会の事前の打合せ・本会議にコーディネーターとして参加し、開発援助に関する国内外の政策動向の把握を行いました。協議会で得た情報や議論の状況は、各月の理事会に報告しています。なお、第 3 回ＯＤＡ政策協議会には担当理事の都合により出席ができませんでした。定期協議会にコーディネーターを派遣することにより、ＮＧＯと外務省の交渉状況について情報を収集するとともに、各地域別／分野別のＮＧＯネットワークとの連携の機会としています。

■　秘密保護法 NGO アクションネットワーク（NANSL）

○実施内容

特定秘密保護法に対応するため、国際協力 NGO が相互に協力する仕組みとして設立された秘密保護法 NGO アクションネットワークの構成団体として運営に参加しました。

〇成果

主に地域ネットワーク型 NGO８団体が 1-2 か月に一度 SKYPE による会議を開催。会合には高橋良輔理事が参加しています。特定秘密保護法が NGO やその関係者に適用された際に協同して対処できるように情報共有を行っていますが、2017 年度は NGO への同法の適用は行われなかったものとみられます。また 2017 年度も外務省との ODA 政策協議会で ODA 情報の秘密保護指定からの除外についても確認をしました。特に 2017 年度は「共謀罪」ともいわれる改正組織的犯罪処罰法が成立したことから、今後の NGO の活動にどのような悪影響があるか、弁護士との勉強会を実施しています。2018 年度はこの中間支援組織間のネットワークを市民社会スペースの確保や拡張のために改組し、市民社会スペースＮＧＯアクションネットワークが設立される予定です。なおＮＡＮＳＬは 2018 年 4 月に解散し、後継ネットワークとして 2018 年 5 月にＮＡＮＣｉＳが設立予定です。ＦＵＮＮとしては 2018 年 3 月の理事会で構成団体として参加することを決定し、4 月 18 日付で正会員団体に賛同よびかけを配信しました。

■　NGO 非戦ネット

○実施内容

国際協力に関わる NGO や、グローバルな観点から市民活動に関わる市民社会組織による安保法制案や戦争政策に反対するための継続的で緩やかなネットワーク団体である NGO 非戦ネットの活動に賛同し、メーリングリスト等による情報共有を行いました。

○成果

FUNN として安保法制に反対の意思を表明する効果があります。メーリングリスト・HP を通じて反対署名の呼びかけ、各種の関連イベントの情報共有が行われており、引き続き情報共有のために参加する意義はあると考えられます。

■ 連携推進委員会

〇実施内容

全国のネットワークＮＧＯ等の代表からなる連携推進員が、ＯＤＡとＮＧＯのより良い連携を目指して、ＯＤＡ制度改善のための協議を外務省と進めてきました。

〇成果

連携推進員を４名から 11 名に増員して体制を強化し、全国のＮＧＯにアンケートを実施し提言内容をまとめ、ＮＧＯの声に基づく協議を外務省に対し実施して参りました。

■ 2017 年度 NGO-JICA 協議会

○実施内容

NGO と JICA の対等なパートナーシップに基づき、より効果的な国際協力の実現と、国際協力への市民の理解と参加を促進するための意見交換である NGO-JICA 協議会に参加しました。

○成果

NGO と JICA の連携に係る最新情報の入手や、NGO 等関係者とのネットワークづくりの場になりました。

▲2017 年度 NGO-JICA 協議会

1-3. 国際協力に関する情報・学習機会の提供

1-3-1. 2017 年度の方針

潜在層・関心層の掘り起こしや、層の中や外がつながるための場づくり・工夫に取り組み、国際協力の活性化を目指します。

1-3-2. 2017 年度の活動

① 国際協力に関する情報の提供

■ 国際協力ニュース

○実施内容

国際協力、NGO、加盟団体、FUNN の活動の情報発信ツールとして、2 か月に 1 回 700 部（計 6 回）発行しました。

○成果

加盟団体、個人会員、地域 NGO/NPO、教育機関、行政等の施設に配布することができました。県外の図書館にも配架していたことから、機関誌を読んだ市民からの問い合わせや相談が寄せられました。

■ メールマガジン「Fun！Fan！FUNN！」、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）

○実施内容

FUNN や加盟団体を中心とする NGO のイベントやボランティア情報などを掲載したメールマガジンを隔週水曜日に発行しました。また、Facebook、Twitter などのツールを活用し、FUNN や加盟団体のイベント、活動情報を提供しました。

○成果

最新情報の収集と提供を意識して取り組むことができました。各種広報媒体を見てイベント等に参加をした市民もいました。

② 国際協力に関する学習機会、参加の場作り

■ 倶楽部 FUNN

○実施内容

国際協力に対する理解を深め、国際協力に関心のある市民が出会い・交流を深めることを目的に、学びとコミュニケーションの得られる場を開催しました。

日にち	タイトル	講師	参加者数
4 月 4 日（金）	交流会	なし	12 名
5 月 14 日（金）	セブで見えた国際協力・国際協力の可能性	今村枝理さん	11 名
6 月 9 日（金）	大きく飛躍しようとしているエチオピアの今	三小田真祐さん	11 名
7 月 7 日（金）	大学でフェアトレードを知ってもらうために取り組んだこと	藤原かおりさん	8 名
8 月 18 日（金）	ベトナムを知ろう	グエン キエウ アンさん	10 名
9 月 8 日（金）	交流会	なし	6 名
10 月 6 日（金）	バヌアツから見える幸せの形	森川大毅さん	8 名
11 月 10 日（金）	そうだ、ガボンへ行こう！～共に生きる～	森本彩子さん	7 名
12 月 8 日（金）	国際協力のカタチ～バングラデシュでの活動を通して、学んだこと～	戸田玲子さん	11 名
1 月 13 日（金）	FUNN 新年会	なし	5 名
2 月 9 日（金）	ボランティアコーディネーターというお仕事	馬田英樹さん	9 名
3 月 9 日（金）	コンゴ民主共和国での国際保健活動	田中圭さん	8 名

▲6 月の様子

▲8 月の様子

○成果

国際協力に関心がある市民の参加機会を提供する入門編の事業として開催し、計 106 人が参加しました。NGO の理解、参加促進につなげることができました。

■NGO 合同説明会

○実施内容

国際協力を知りたい、NGO の活動に参加したいという大学生を対象に、講座と NGO のブース出展を組み合わせた事業を西南学院大学と連携して実施しました。また、本説明会に出展した団体が企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生へ参加費補助を行う仕組みが設けられました。

●日時：6 月 21 日（水）15:15～18:00

●会場：西南学院大学

●出展団体：（特活）エスペランサ、
（財）カンボジア地雷撤去キャンペーン、
（特活）九州海外協力協会、（特活）ソルト・パヤタス、
Save the African Children、チベットを知る会、
フレンズ国際ワークキャンプ九州、（特活）日本国際ワークキャンプセンター、ボランティアプラットホーム、（特活）NGO 福岡ネットワーク

●参加者：約 65 名

○成果

ボランティアや国際協力に関心の高い学生が福岡の NGO と出会い、実際に現場を訪れるきっかけづくりになると好評でした。また今年度も、合同説明会に出展した NGO が企画するスタディツアーやワークキャンプに参加した学生に対して、西南学院大学から参加費の一部補助を行う制度が実施されました。

■第 18 期 NGO カレッジ「遠くて近い世界と地域～学びをココから実践しよう～」

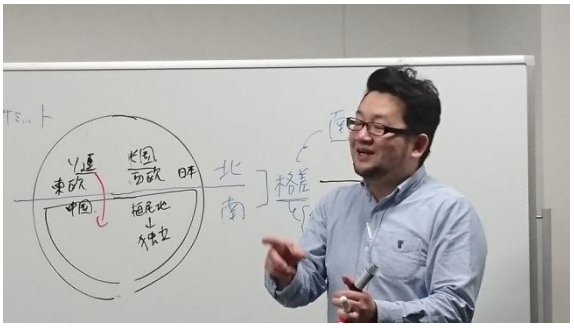
○実施内容

ＳＤＧｓってな～に？身近にある国際問題ってな～に？そもそも国際協力の意義って？私たちに求められる事や国際協力の在り方についてわかりやすく解説する 2 回連続講座開催しました。

（西日本国際財団助成金）

日にち	タイトル	講師	会場	参加者数
2017 年 12 月 16 日（土）	国際協力ってなんだろう？ＳＤＧｓって何だろう？	藤井大輔さん（九州国際大学現代ビジネス学部・准教授）	リファレンス博多駅駅東ビルＹ－２会議室	２名
2017 年 12 月 17 日（日）	ＳＤＧｓに学ぼう応用編	藤井大輔さん（九州国際大学現代ビジネス学部・准教授	福岡県県ＮＰＯボランティアセンター	１名

▲グループワークの様子



▲講師のお話

○成果

「ＳＤＧｓについて知ってもらう、国際協力について考えてもらう」事を目標に講座を行いました。参加者からは今まで「知らなかった、気付かなかった」事を知る事ができたとの感想がありました。講座で終わるのではなく講座終了後から参加者自身がどのように行動して行くのかなども盛り込まれていたため満足度も高い講座になりました。また、インターン生が主体的に企画を行い、企画実施に向けたアドバイスや指導を学生にすることで人材の育成にも貢献しました。

■外務省「NGO 相談員」

○実施内容

外務省 NGO 活動環境整備支援事業「NGO 相談員」を受託し、市民・企業・行政・教育機関等からのNGO や国際協力に関する相談業務を行いました。2017 年度の年間相談件数は 578 件（16 年度 560 件）でした。

○成果

2017 年度は、「九州の NGO の事業・組織運営能力向上」「国際協力への一般市民の理解・参加の拡大」ことを目標に実施しました。

イベント出展時には相談者を待つだけではなく、簡単なクイズに答えてもらうことから国際協力への関心を持ってもらい、その後の具体的な相談を引き出すという仕掛けを行いました。また、講演を行う出張サービスでは SDGs をテーマにしていたことから参加者の生活と結びつけた話をすることでイメージの具体化を図りました。これらの工夫により、相談対応後にイベントやボランティアに参加する市民が現れたことが大きな成果です。

■NGO 相談員「出張サービス」

○実施内容

市民などからの相談対応を通した国際協力の理解促進を目的に、国際協力関連のイベントなどにおける相談対応や講演活動を積極的に実施しました。2017 年度は 10 件の出張サービスを実施しました。

日にち	企画名	場所
2017 年 8 月 19 日（土）	佐賀市の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	佐賀商工ビル 1 階 ＪＩＣＡデスク佐賀
2017 年 8 月 22 日（火）	北九州市の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	八幡西区コムスティ 3 階 ＪＩＣＡデスク北九州

2017 年 10 月 1 日（日）	ハートフルフェスタ 2017	福岡市市役所前広場
2017 年 10 月 21 日（土）	九州大学アカデミックフェスティバル 2017	九州大学伊都キャンパス椎木講堂
2017 年 10 月 22 日（日）	国際協力フェスタ地球市民どんたく 2017（台風のため中止）	天神中央公園
2017 年 11 月 4 日（土）、5 日（日）	アミカス祭り 2017	福岡市男女共同参画推進センター・アミカス
2017 年 11 月 25 日（土）、26 日（日）	あすばる男女共同参画フォーラム 2017	クローバーホール 1 階
2017 年 12 月 20 日（水）	大分県の民間機関等への広報及びネットワーキング活動	おおいた留学生ビジネスセンター（SPARKLE）
2018 年 1 月 24 日（水）	長崎県の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	出島交流会館 ＪＩＣＡデスク長崎
2017 年 2 月 6 日（火）	鹿児島県の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	かごしま県民交流センター ＪＩＣＡデスク
2017 年 2 月 8 日（木）	熊本県の国際協力機関等への広報及びネットワーキング活動	熊本市国際交流協会 ＪＩＣＡデスク熊本

▲おおいた留学生ビジネスセンターにて

▲イベント出展時の様子

○成果

今年度は通常の出展イベントに加えて、九州各県の国際交流協会、国際協力推進員を訪問することができました。目的としては、①地域の国際協力の状況ヒアリング②NGO 相談員事業の紹介③NGO 相談員受託団体の活動紹介④国際協力機関等と NGO 相談員受託団体との連携可能性の検討、以上を目指して行いました。訪問によって関係者と顔見知りになり、関係構築につながりました。

■ 講師派遣

○実施内容

大学や小中高校での総合学習の授業や公民館、市民・他団体の取組・企画に FUNN 職員などを派遣、および派遣の調整を行いました。

日にち	授業・企画名	主催者／依頼者	場所	参加者数
6 月 16 日（金）	夢カフェ	九州国際大学現代ビジネス学部	九州国際大学	約 100 名
1 月 26 日（火）	ネットワーク活動について	西川芳昭先生	びおとーぷ	5 名

1-4. NGO 活動に関する人財育成

1-4-1. 2017 年度の方針

FUNN や福岡の国際協力活動の発展に資する人材の確保・育成のための活動に取り組みます。

1-4-2. 2017 年度の活動

① 人材確保・育成の為の施策

■ ボランティア

○実施内容

国際協力や NGO の活動に関心のある方を FUNN のボランティアとして受け入れました。NGO 相談を通して「ボランティアをしたい」という市民への相談にも応じ、加盟団体の活動紹介や仲介などを行いました。

▲多くのボランティアが参加しました

○成果

国際協力ニュースの発送作業やイベント時のブース手伝いなど協力をいただきました。

■ インターン

○実施内容

週 10 時間、3 ヶ月以上勤務をするインターンを 3 名受け入れました。

公益信託アジア・コミュニティ・トラスト 2017 年度「アジア留学生等支援基金」助成事業アジア留学生インターン受入れ助成プログラムからグエン キエウ アンさん、NPO 法人ドットジェイピーから井手口祥汰さん、個人申し込みの蒲原昇平さんをインターンとして受け入れました。

○成果

FUNN でのインターン終了からアジアへの仕事のきっかけになった例や、インターン終了後も自ら企画した事業のボランティアとして引き続き関わってもらうことができました。

1-5. NGO 間及び各種団体との連携促進

1-5-1. 2017 年度の方針

国際協力の理解促進、発展、社会的課題の解決を目指して、NGO と NGO を繋ぎ、NGO とは異なるセクターを繋ぐことによる相乗効果を目指します。

1-5-2. 2017 年度の活動

① ネットワークの構築

■ ネットワーク活動

○実施内容

（特活）国際協力 NGO センター、（特活）関西 NGO 協議会、（特活）名古屋 NGO センター、動く→動かす、独立行政法人国際協力機構九州国際センター、JICA 国際協力推進員、（公財）福岡よかトピア国際交流財団、福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）、（公財）福岡県国際交流センター、福岡県 NPO・ボランティアセンター、福岡市 NPO・ボランティア交流センター「あすみん」、福岡市人権啓発センター「ココロンセンター」、福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」など FUNN が加盟・登録しているネットワークの連絡会や交流会に参加し、情報交換、連携促進を図りました。

○成果

関係機関とは日常的に連絡を取り合ったり、各施設を定期的に訪れることで、お互いの相談に応じたり、事業面での連携が実現するなどの良好な関係を構築することができました。

■ NGO と企業の連携推進ネットワーク

○実施内容

「NGO と企業の連携推進ネットワーク」（事務局：（特活）国際協力 NGO センター（JANIC））に参加し、NGO と企業の連携のための情報収集に努めました。

○成果

地球規模の課題解決に向けた NGO と企業の連携の最新事例やノウハウなどの情報を手に入れることができました。

■ 地域ネットワーク型 NGO と JICA の意見交換会

○実施内容

2017 年度第 2 回 NGO-JICA 協議会 10 月 16 日（月）（北海道開催）に参加しました。

○成果

NGO-JICA 協議会と本意見交換会での主張や議論によって、前記の通りの成果を得ました。

2.組織

2-1. 組織運営・体制

役員

【代　表】 ニノ坂保喜／（特活）バングラデシュと手をつなぐ会　代表

【副代表】 藤井大輔／債務と貧困を考えるジュビリー九州　代表、九州国際大学現代ビジネス学部
准教授
楠原圭子／アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム　事務局

【理　事】 河上雅夫／NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク　理事
高橋良輔／青山学院大学地球社会共生学部教授
瀧本昌平／債務と貧困を考えるジュビリー九州　事務局長
原田君子／（特活）NGO 福岡ネットワーク　事務局長
本垣内英人／一般財団法人カンボジア地雷撤去キャンペーン　理事
本田正之/ＮＰＯ法人　循環生活研究所スタッフ
【監　事】 安部昌明／（特活）明日のカンボジアを考える会　代表

事務局

【事務局長】 原田君子
【職　　員】 浅香勇貴、北風友
【会　　計】 岩本直子
【機 関 誌】 多原真美
【インターン】 井手口祥汰、蒲原昇平、グエン　キエウ　アン

■通常総会：2017 年 6 月 11 日（日）福岡 NPO 共同事務所「びおとーぷ」共同大会議室
■理事会：毎月 1 回
■事務局会議：毎週水曜日

2-2. 会員

正会員（全 30 団体）

NPO 法人 ISAPH
アジア開発銀行福岡 NGO フォーラム（FNA）
（特活）アジア女性センター
（特活）明日のカンボジアを考える会
認定 NPO 法人 ACE
（特活）エスペランサ
カリブーニケニアの会（2017 年 12 月退会）
（財）カンボジア地雷撤去キャンペーン
（特活）九州海外協力協会
くるんて～ぷの会（2017 年 3 月退会）
コミュニティコミュニケーション・サポートセンター（Commu）
債務と貧困を考えるジュビリー九州
佐賀 NGO ネットワーク
JVC 九州ネットワーク
NPO 法人聖母
Save the African Children（2017 年 10 月退会）
認定 NPO 法人ソルト・パヤタス
NPO 法人チェルノブイリ医療支援ネットワーク
認定 NPO 法人地球市民の会
チベットを知る会
NPO 法人トゥマンハティふくおか
（特活）NICE
国際協力 NGO　NESTEP
ネパール歯科医療協力会（ADCN)
（特活）バングラデシュと手をつなぐ会
バングラディシュピルガゾン村診療所実行委員会
PP21 ふくおか自由学校
（財）福岡 YMCA
フレンズ国際ワークキャンプ九州（FIWC 九州）
モザンビークのいのちをつなぐ会

個人会員

賛助会員（個人）　14 名
賛助会員（団体）　0
賛助会員（企業）　0
通信会員　　35 名

以上